

コースメモ

44. 橋 - 12
寺山田橋 (八田橋)

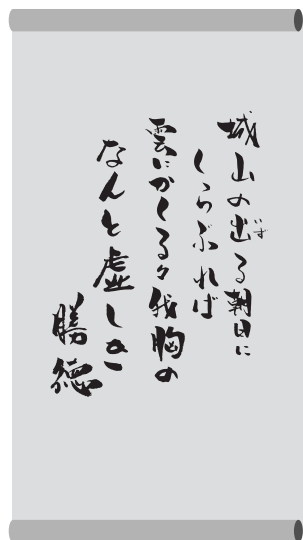
45. 排水路

46. 取水口 - 4
(嶋添堰①)

次号へ
47. 排水路

史跡メモ

一の堰及裂田川
用水路改修記念碑



傾向が続き、田植前になつても一

ています。改修前は各堰の石柱の間隔がまちまちで、担当者は苦勞が多かつたそうです。「今回の改修で間隔を統一したので、作業が楽になつた」と話されています。生命の源である豊かな水を運ぶ裂田溝には、小さな堰や橋がいくつもあります。それぞれに名前が付けられ暮らしの中に溶け込んでいます。小柳の古老にはいろいろなことを教わりましたが「このような橋の名前も大事に残していこう」と、話し合われています。

今年とは異常気象と言われ、小雨傾向が続き、田植前になつても一

向に雨が降る気配がなく水不足が心配されました。唐戸開きの日も近まり、裂田水路「一の井堰水利組合」全七区の役員で協議をし、6月8日(金)、伏見神社で「雨乞い神事」が執り行われました。その後、唐戸(取水口)に役員が集まり水量の調整などが話し合われました。幸いなことに翌日から雨に恵まれ、水不足の心配はなくなりました。こ

こは夏休みの間、子どもたちのにぎやかな遊び場となりました。

次号は、排水路「嶋添堰②」を紹介し



雨乞い神事が終わって唐戸(取水口)に立ち、裂田溝の水位を相談中の各区代表の皆さん



裂田溝の水管管理者は、唐戸番と呼ばれています。1年を通して細やかな配水管をされていますが、特に田植えの時期になると農業用水の配水調整に気を配られます



裂田溝・一の井堰水利組合役員7区代表(山田、安徳、東隈、仲、五郎丸、松木、今光)の皆さん/6月8日、伏見神社の「雨乞い神事」にて



一の堰及裂田用水路改修工事完工記念碑

寺山田橋(八田橋)は山田区のほぼ中央に位置し、小柳から山田方向へ流れる裂田溝に架かる橋です。橋の西側の裂田溝と並行する道が、町道「小柳前線」。一方、伏見神社北側からの道は町道「山田・松木線」で、寺山田橋を渡るとすぐ右折して裂田溝沿いに安徳方面へと向かいます。寺山田橋から安徳の裂田神社までは、昭和51年に裂田水路の改修工事が行われ、その記念碑が橋の南側に立っています。碑文には「脊振ダム補償工事として一の堰の砂落し水門口裂田川用水路の兩岸の被覆コンクリートの角落し八ヶ所等の改修工事をなす又特に八田橋下流約七百米の左

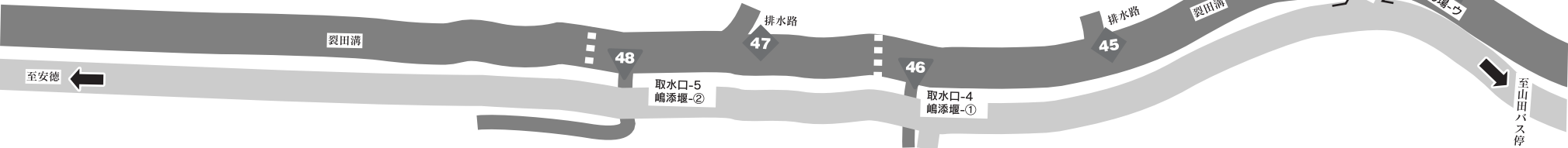
田んぼ側の護岸工事は「ラップストーン工法」による宝満石を積み重ねた石垣で、魚たちが石垣の間を自由に出入りできる、自然に優しい工法が採用されています。橋の下流には、南側から流れ込む排水路があります。共栄橋下の椿井堰から取水された水は、伏見神社裏の田んぼを巡り巡ってこの排水路へと落ちてきます。さらに、すぐ下流には「嶋添堰①」があります。川幅いっぱいになり、まるで「水守の精」を思わせるかのような真新しいコンクリートの太い石柱が4本立っています。石柱の上流側の両脇にある切り欠きに板を引っ掛けて堰を作り、上流側の水位を上げて堰の手前にある土管から北側の田んぼに水を送る仕掛けになつ



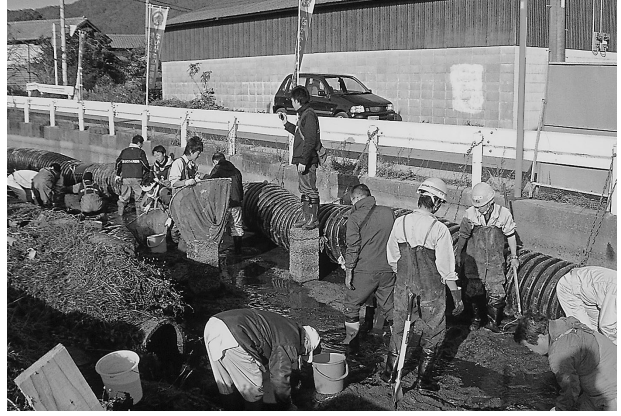
一の堰及裂田用水路改修工事完工記念碑と寺山田橋



裂田溝に架かる寺山田橋



取水口-4 (嶋添堰①) 土管から道路下をくぐり、北側の田んぼへ送水されます



1月の厳しい寒さの中、工事中の裂田溝に入り「水生生物避難作業」で魚の調査を行う福岡大学学生ボランティア「博多海援隊」と、同じくボランティアグループ「なかかわの環境を考える会」の皆さん

探訪

91

なかかわ

那珂川町郷土史研究会

裂田溝18

寺山田橋(八田橋)周辺